

奨励金を補助する制度をスタートした。全国でも例のない制度といい、これまでに市内の飲食店6軒が奨励金申請の登録を終えた。市は、鹿肉料理の消費拡大につながることを期待している。(田中聡)

丹波市、小売店や飲食店に

1キロ2000円上限

「鹿肉食べよう」奨励金

鹿による農林業被害対策として県は年間約3万5000頭の鹿を駆除している。丹波市では2012年に約1600頭を捕獲。市内の鹿肉加工販売会社「丹波姫もみじ」で約450頭を処理して食肉用に販売してきたが、食肉にできるのは良質のものに限られ、大半が山中への埋め立てや焼却しかなかった。

4月に「丹波姫もみじ」構内に国の補助で「シカ有効活用処理施設」が完成。年間約1000頭を食用、非食用(ドッグフード原材料)で処理する体制が整ったことから、食肉の販売促進に乗り出した。年間約4000kgの食肉販売を見込み、1kg当たり2000円、総額800万円の補助金を計上した。奨励金申請の登録をした店舗には、市が作成した2種類ののぼりを配布し、店頭に掲示してもらう。市新産業創造課では「鹿肉の

処理技術は丹波市がリードしており、補助制度により消費を促し、丹波鹿肉のブランド化を目指す」としている。市内で鹿肉料理専門店「無鹿」を営む鴻谷佳彦さん(36)は「補助金のある間に鹿肉を扱う店が増え、身近な食材になることを期待する。補助金を活用して商品開発に取り組みたい」と話していた。

鹿肉の奨励金補助を申請した店が設置するのぼり

